

Wada Times Vol.17

仲間と
二度と戻れないこの瞬間
ともに

風になれ



平成二十一年度
学芸発表会
杉並区立和田中学校

さる十一月二日(月)、平成二十一年度和田中学校学芸発表会が、中野ゼロホールで行われました。新型インフルエンザが流行するなか、学級閉鎖するクラスもなく、各クラスの仲間が一体になった「和田中レベル」の発表が行われました。また、当日は、地域、保護者の皆さんがのべ700名ほどご来場いただき、場内は終始熱気に包まれていました。

■審査員・済美教育センター副所長 坂田篤先生の講評(一部を抜粋)

- ◆選抜音楽への感想
音楽が好きで、もっと学びたいという意欲にあふれた演奏、合唱。
- ◆ダンス部への感想
全身を使ったパフォーマンスに元気が湧いた。これからもエネルギー溢れる表現を追求して欲しい。
- ◆吹奏楽部への感想
「また」上達しましたね。感心しました。音楽をからだ全体で感じ取り全力で表現しようとしている。
- ◆1年生の合唱への感想
和田中の伝統の襷(たすき)が確実に引き継がれている。一人ひとりが懸命に歌おうとしていることが伝わり、感動的、秀逸です。
- ◆2年生の合唱への感想
パワーとエネルギーがあり、若さあふれる力強い合唱。明るい響きでよく声が出て、さすがは2年生。
- ◆3年生の合唱への感想
若者の心がゆれ溢れるような思いが曲に込められている。君たちの思いが伝わり、涙が出そった。

金賞	銀賞
1年 C組	D組
2年 C組	
3年 C組	D組





■『金賞』より、尊いもの
校長 代田昭久

合唱コンクールが終わって、金賞を取らなかったのはとても悔しいけれど、今までにないほど充実した練習をして、クラスが一つになって発表ができたので、心のどこかで満足もしているんです」と言ってくれました。

金賞をとったクラスの陰で、多くのクラスがその賞をとれずに悔しい思いをしています。どんなに頑張っても、すべてのクラスが金賞を獲れるわけはありません。それでも、「今までの努力が無駄になった」と思っている人は少ないのではないのでしょうか。クラスの仲間とともに、目標にむかってお互いに向上心を持ち、時には意見をぶつけ合いながらも努力を積み重ねてきたことで、かけがえない仲間を得、絆を深めることができたと思います。

これから先、君たちが社会にでた時には、様々な場面で、自分の夢や目標がかなえられないことあることでしょう。むしろ、夢がかなえられずに、挫折することの方が多くもしません。しかし、大切なのは、その夢や目標に向かうまで道のりでの何を学び、何を得たか、です。

金賞を受賞したクラスは、本当におめでとう。そして金賞を逃したクラスも、もっと大切なものをもっとすてに手に入れていくことを、忘れないでいてください。



10月のよのなか科NEXTは、「芸術の秋シリーズ」と題し一流のアーティストにゲスト講師として来校していただきました。自分らしく表現し、自分の思いを伝えることの大切さを学びました。

10月7日 【音楽と表現】の授業に作曲家「富田勲先生」が来られました

【授業の感想より】

- ・合唱コンクールの練習が行なわれているけれど、今日の授業のテーマである音楽と表現はそういう所で通じるものがあったととても勉強になった。私も合唱コンなどで人の心に直接届くような歌い方や表現ができればいいなと思いました。
- ・私は自らその手で音楽をつくっている富田さんにあこがれました。はじめから音楽の才能があっても努力の積み重ねでここまで登りつめたのだと思いました。



▲手塚治虫氏の生誕80周年を記念して、富田先生が交響詩「ジャングル大帝」をリメイクされました。

10月14日 【絵画と表現】の授業に絵本作家「はまのゆか先生」が来られました



【授業の感想より】

- ・立体音響を聞いて、自分が実際に絵のストーリーに入っているような錯覚がした。
- ・絵や音楽は言葉以上に伝えたいものが伝わってくる。1つの絵を見るだけでいろいろな解釈があって、その人その人の世界観をつくることのできるんだと思う。
- ・音や絵を使って1枚の紙にいくつもの命を吹き込む。それが音楽や絵など芸術の持つ力だと思った。
- ・自分のイメージを絵にするのはとても楽しかった。

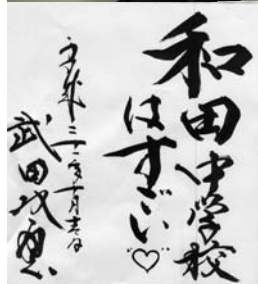
グループで「ジャングルの朝」を表現していきます。▲

10月28日 【書動と表現】の授業に書道家「武田双雲先生」が来られました



【授業の感想より】

- ・武田さんの「毎日楽しく生きる」という言葉が心に残った。最初からマイナスのイメージを持つのではなく、なんでも楽しいと思うことで生活が変わり、幸せになるチャンスも増えるということを学んだ。



- ・たくさん笑って、とても考えさせられた授業だった。サボテンは水の多い場所にあっても花が咲かない、という話が印象的だった。無理をして自分に合わない人間になろうとするより、自分らしく良くなりたいと思う。

▲授業を終えて

▲リレー書道で「和」を書く

▲「自分を表す文字」「理想の一文字」などの課題に取り組みました。

12月の「よのなか科NEXT」のお知らせ

月	日	学年	校時	テーマ	授業の内容など
12月	18日 (金)	2年	(2)(3)(4)	菅平スキー教室を10倍楽しむ	スキー産業の衰退と今後の展望 長野県の地域性と伝統産業について考える
	22日 (金)	3年	(6)(7)	高校入試を乗り切る	面接試験の傾向と対策 ～平成20年度卒業生の面接試験の分析結果から～
	25日 (火)	1年	(4)(5)	自分の将来を考える	『13歳のハローワークマップ』を使って 仕事探しの旅に出よう。